

## 船舶事故調査報告書

平成28年4月21日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	のり養殖施設損傷
発生日時	平成27年12月2日 09時45分ごろ
発生場所	千葉県富津市富津岬西南西方沖 明治百年記念展望塔から真方位245° 1,300m付近 (概位 北緯35° 18.5′ 東経139° 46.3′)
事故の概要	プレジャーボート <sup>モスケー</sup> SKは、南進中、のり養殖施設に進入して同施設が損傷した。
事故調査の経過	平成27年12月2日、調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート SK、1.3トン
船舶番号、船舶所有者等	232-43872千葉、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	本船 なし のり養殖施設 のり網が破損及び枠網に擦過傷
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風速 約4m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5～1.0m、潮汐 高潮時
事故の経過	船長は、船首方約5～6m手前でのり養殖施設に気付き、機関を中立にして右舵を取ったところ、船底に衝撃を感じて機関を停止した。 船長は、以前に本事故発生海域を航行した際、航行の障害となるものがなかったので、同海域を航行しても大丈夫だと思った。 のり養殖施設は、5月中旬～9月末まで撤去されていた。
分析	本船は、船長が、富津岬西南西方沖にのり養殖施設があることを知らなかったことから、航行の障害となるものはないと思って航行し、のり養殖施設に進入したものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、富津岬西南西方沖にのり養殖施設があることを知らなかったため、航行の障害となるものはないと思って航行し、本船がのり養殖施設に進入したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ のり養殖が行われる期間及び海域を把握すること。